



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7238 URL <https://www.akebono-brake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 長岡 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小野崎 正史 (TEL) 03-5299-7629
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	119,899	△0.8	4,439	160.9	3,228	-	1,236	△36.7
2025年3月期第3四半期	120,838	△3.3	1,702	56.4	△1,667	-	1,953	921.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △954百万円(-%) 2025年3月期第3四半期 △5,356百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	4.55	2.28	
2025年3月期第3四半期	14.62	3.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	127,690	55,037	37.8
2025年3月期	128,326	55,945	38.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 48,268百万円 2025年3月期 49,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 一	円 銭 0.00	円 銭 一	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	円 銭 一	円 銭 0.00	円 銭 一	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	159,400	△1.4	5,000	60.1	4,000	-	300	78.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年3月期3Q	2025年3月期	273,755,222株
2026年3月期3Q	2,324,963株	2025年3月期	2,375,138株
2026年3月期3Q	271,416,583株	2025年3月期3Q	133,594,861株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
A種種類株式 2025年 3 月期	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 0.00
2026年 3 月期	—	0.00	—		
2026年 3 月期(予想)				0.00	0.00

(注) 上記の未償還のA種種類株式は13,700株です。A種種類株式は、2019年9月30日に20,000株を発行し、6,300株を2025年1月14日付でA種種類株主による普通株式を対価とする取得請求権の行使に伴い取得し同月16日付で消却しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(四半期連結貸借対照表関係)	12
(四半期連結損益計算書関係)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループを取り巻く事業環境は、物価の高止まりや景気減速リスク、為替相場の変動など、依然として不透明な状況が続いておりますが、当社は中期経営計画を策定し、外部環境の変化に左右されにくく安定的に収益を上げられる会社を目指して基盤再構築に取り組んでおります。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、前期の後半に立ち上がったメキシコにおける新型車向け製品をはじめとした北米での受注増加や中国における中国系完成車メーカーの新型車向け製品の立ち上げがあつたものの、欧州における一部車種のモデルチェンジに伴う生産終了や完成車メーカーの生産量減少に伴う受注減少に加え円高の影響により、売上高は1,199億円と対前年同期比9億円(△0.8%)の減収となりました。

利益面では、原材料価格やエネルギーコストの販売価格への転嫁、経費削減や生産性向上などの合理化により、営業利益は44億円と対前年同期比27億円(+160.9%)の増益となりました。経常利益は、為替差損が為替差益に転じたことや、資金調達費用が減少したことなどにより32億円(前年同期は経常損失17億円)となりました。

特別損益において北米における米国エリザベスツーン工場の閉鎖に向けた不動産売却に伴う固定資産売却益がありましたが、投資有価証券売却益が前年同期から減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億円と対前年同期比7億円(△36.7%)の減益となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減	増減率
売上高	1,208	1,199	△9	△0.8%
営業利益	17	44	27	160.9%
経常利益	△17	32	49	-%
税金等調整前四半期純利益	56	29	△28	△49.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	20	12	△7	△36.7%

地域セグメントごとの業績は次のとおりです。

(単位：億円)

		前期	当期	増減	増減率	為替換算影響
売上高	日本	492	485	△6	△1.3%	—
	北米	369	382	13	3.5%	△10
	欧州	99	66	△34	△34.0%	3
	中国	85	92	7	8.3%	△3
	タイ	55	56	1	1.6%	3
	インドネシア	183	182	△1	△0.3%	△12
	連結消去	△74	△64	11	-%	—
	連結	1,208	1,199	△9	△0.8%	△19
営業利益	日本	19	35	16	86.5%	—
	北米	△26	△22	4	-%	1
	欧州	3	△0	△3	-%	△0
	中国	2	9	7	414.2%	△0
	タイ	4	7	3	58.7%	0
	インドネシア	14	15	1	7.1%	△1
	連結消去	2	1	△0	△26.2%	—
	連結	17	44	27	160.9%	△0

① 日本

原材料価格やエネルギーコストの販売価格への転嫁に加え、自動車用補修品や鉄道車両用製品の受注増加がありましたが、商用車メーカーの北米向け製品の受注減少などにより、売上高は485億円と対前年同期比6億円(△1.3%)の減収となりました。

利益面では、受注変動の影響があったものの、生産性向上などの合理化や経費削減に加え、上述の価格転嫁により、営業利益は35億円と対前年同期比16億円(+86.5%)の増益となりました。

② 北米

米国における一部車種の生産終了があったものの、前期の後半に立ち上がったメキシコにおける新型車向け製品をはじめとした受注増加により、売上高は382億円と対前年同期比13億円(+3.5%)の増収となりました。

利益面では、賃金上昇や米国エリザベスタウン工場閉鎖に向けた在庫造り込みに伴う一時的な人員増加による労務費の増加、関税影響があったものの、受注増加により、営業損失は22億円(前年同期は営業損失26億円)となりました。

③ 欧州

一部車種のモデルチェンジによる生産終了や完成車メーカーの生産量減少に伴う大幅な受注減少により、売上高は66億円と対前年同期比34億円(△34.0%)の減収となりました。

利益面では、生産数量減少に応じた人員適正化や経費削減などの合理化に努め、原材料価格やエネルギーコストの高騰影響を販売価格へ転嫁しましたが、受注減少の影響が大きく、営業損失は4百万円(前年同期は営業利益3億円)となりました。

④ 中国

摩擦材製品の受注減少があったものの、中国系完成車メーカーの新型車向け製品の立ち上げがあり、売上高は92億円と対前年同期比7億円(+8.3%)の増収となりました。

利益面では、中国系完成車メーカーから販売価格の見直し要請の影響があったものの、前期までに実施した人員適正化による労務費の削減及び経費の減少により、営業利益は9億円と対前年同期比7億円(+414.2%)の増益となりました。

⑤ タイ

前期における一部車種の生産終了の影響があったものの、円安の影響により、売上高は56億円と対前年同期比1億円(+1.6%)の増収となりました。

利益面では、上述、一部車種の生産終了影響があったものの、生産性向上などの合理化により、営業利益は7億円と対前年同期比3億円(+58.7%)の増益となりました。

⑥ インドネシア

二輪車用製品の受注増加がありましたが、小型車用製品の受注減少や円高の影響により、売上高は182億円と対前年同期比1億円(△0.3%)の減収となりました。

利益面では、新工場移転に伴う一時費用の発生がありました、原材料価格やエネルギーコストの販売価格への転嫁に加え、二輪車用製品の受注増加により、営業利益は15億円と対前年同期比1億円(+7.1%)の増益となりました。

(注) 当第3四半期連結累計期間とは

- (1) 北米・中国・タイ・インドネシア：2025年1月～2025年9月
- (2) 日本・欧州 : 2025年4月～2025年12月 となります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)	前期末	当期末	増減	(負債・純資産の部)	前期末	当期末	増減	(単位：億円)
流動資産	650	676	26	流動負債	313	350	37	
現金及び預金	183	179	△4	仕入債務	182	193	10	
売上債権	274	298	23	有利子負債	30	51	22	
棚卸資産	172	172	0	その他	101	106	5	
その他	21	28	7	固定負債	410	376	△34	
固定資産	634	601	△33	有利子負債	322	297	△25	
有形固定資産	502	471	△31	その他	89	79	△10	
無形固定資産	24	20	△3	負債合計	724	727	3	
その他	109	110	1	純資産	559	550	△9	
総資産	1,283	1,277	△6	負債・純資産	1,283	1,277	△6	

(資産)

当期末の資産は1,277億円と前期末比6億円の減少となりました。流動資産は676億円と前期末比26億円の増加となりました。これは主に、売上増加などにより売上債権が23億円増加したことによるものです。固定資産は601億円と前期末比33億円の減少となりました。これは主に、設備投資を行った一方で、減価償却費の計上や米国エリザベスティン工場の不動産売却などにより有形固定資産が31億円減少したことによるものです。

(負債)

当期末の負債は727億円と前期末比3億円の増加となりました。これは主に、長期借入金の返済や短期借入金の借入などにより有利子負債が3億円減少した一方で、仕入債務が10億円増加したことによるものです。

有利子負債残高348億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は170億円あります。

(純資産)

当期末の純資産は550億円と前期末比9億円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が12億円増加した一方で、為替変動の影響により為替換算調整勘定が26億円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末比4億円減少の179億円となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	21	33	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	70	△10	△81
計 (フリー・キャッシュ・フロー)	91	23	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	△10	177
換算差額	3	△18	△21

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

運転資本の増減額△19億円や法人税等の支払額14億円があった一方で、税金等調整前四半期純利益29億円、減価償却費46億円などにより、資金が増加となりました。前年同期に対しては、リコール関連損失に係る支出がなくなったことなどから、収入が増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

米国エリザベスティン工場の不動産売却などにより有形及び無形固定資産の売却による収入20億円があった一方で、インドネシアにおける工場移転などの設備投資により有形及び無形固定資産の取得による支出31億円の計上があり、資金が減少となりました。前年同期に対しては、投資有価証券の売却による収入が減少したことから、収入から支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増額14億円があった一方で、長期借入金の返済による支出19億円、非支配株主への配当金の支払額4億円があり、資金が減少となりました。前年同期に対しては、前期に実施したリファイナンスに伴う長期借入金の返済による支出がなくなったことなどにより、支出が減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきまして、2025年5月15日付の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました予想値に対し、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のいずれもが上回る見込みとなりました。これは主として、日本及び中国における売上が期初予想比で増加していることに加え、原材料価格やエネルギーコスト、労務費の上昇分について販売価格への転嫁が進展していること、並びに生産性向上や経費削減などの合理化施策が当初の想定を上回る見込みとなったことによるものです。

詳細は本日付「(連結)営業外収益の計上及び2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,303	17,856
受取手形及び売掛金	27,440	29,763
商品及び製品	4,252	3,666
仕掛品	2,605	2,747
原材料及び貯蔵品	10,296	10,752
その他	2,296	3,010
貸倒引当金	△240	△226
流動資産合計	64,951	67,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,633	48,233
減価償却累計額	△41,995	△39,181
建物及び構築物（純額）	※2 10,638	※2 9,052
機械装置及び運搬具	149,423	143,787
減価償却累計額	△129,655	△125,817
機械装置及び運搬具（純額）	※2 19,769	※2 17,970
土地	※2 13,727	※2 13,651
建設仮勘定	4,229	4,731
その他	23,176	23,000
減価償却累計額	△21,382	△21,317
その他（純額）	1,794	1,683
有形固定資産合計	50,158	47,086
無形固定資産	2,358	2,030
投資その他の資産		
投資有価証券	※2 85	94
退職給付に係る資産	8,548	8,692
繰延税金資産	1,025	967
その他	1,202	1,254
投資その他の資産合計	10,860	11,007
固定資産合計	63,375	60,123
資産合計	128,326	127,690

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,238	19,257
短期借入金	※1 2,862	※1 4,001
1年内返済予定の長期借入金	—	※1,※2 800
リース債務	103	331
未払法人税等	720	686
未払費用	6,002	6,948
賞与引当金	1,065	289
設備関係支払手形	139	125
その他	2,208	2,583
流動負債合計	31,337	35,020
固定負債		
長期借入金	※1,※2 32,000	※1,※2 29,283
リース債務	166	425
役員退職慰労引当金	8	9
退職給付に係る負債	3,374	3,303
繰延税金負債	2,570	2,420
再評価に係る繰延税金負債	1,665	1,665
その他	1,260	529
固定負債合計	41,044	37,633
負債合計	72,381	72,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	2,345	2,320
利益剰余金	17,872	19,108
自己株式	△1,586	△1,552
株主資本合計	38,571	39,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	21
土地再評価差額金	3,741	3,741
為替換算調整勘定	6,421	3,849
退職給付に係る調整累計額	752	842
その他の包括利益累計額合計	10,927	8,453
新株予約権	25	63
非支配株主持分	6,422	6,705
純資産合計	55,945	55,037
負債純資産合計	128,326	127,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	120,838	119,899
売上原価	109,054	106,173
売上総利益	11,784	13,726
販売費及び一般管理費	10,082	9,287
営業利益	1,702	4,439
営業外収益		
受取利息	185	127
受取配当金	161	5
為替差益	—	385
その他	195	92
営業外収益合計	541	609
営業外費用		
支払利息	1,335	1,364
為替差損	439	—
製品補償費	43	68
資金調達費用	1,727	38
その他	366	350
営業外費用合計	3,910	1,820
経常利益又は経常損失(△)	△1,667	3,228
特別利益		
固定資産売却益	84	589
投資有価証券売却益	8,950	0
受取保険金	—	※1 94
新株予約権戻入益	3	—
特別利益合計	9,036	683
特別損失		
固定資産除売却損	67	39
事業構造改善費用	※2 807	※2 735
為替換算調整勘定取崩損	※3 848	—
災害による損失	—	※4 270
特別損失合計	1,722	1,044
税金等調整前四半期純利益	5,647	2,867
法人税、住民税及び事業税	1,611	1,137
法人税等調整額	1,575	△197
法人税等合計	3,186	941
四半期純利益	2,461	1,926
非支配株主に帰属する四半期純利益	508	690
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,953	1,236

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,461	1,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,846	8
為替換算調整勘定	236	△3,002
退職給付に係る調整額	△206	113
その他の包括利益合計	△7,816	△2,880
四半期包括利益	△5,356	△954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,093	△1,237
非支配株主に係る四半期包括利益	738	283

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,647	2,867
減価償却費	4,979	4,578
貸倒引当金の増減額（△は減少）	22	△28
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△306	66
受取利息及び受取配当金	△346	△132
支払利息	1,335	1,364
固定資産除売却損益（△は益）	△17	△550
投資有価証券売却損益（△は益）	△8,950	△0
売上債権の増減額（△は増加）	3,360	△2,788
棚卸資産の増減額（△は増加）	△977	△471
仕入債務の増減額（△は減少）	△201	1,323
その他	2,286	563
小計	6,832	6,792
利息及び配当金の受取額	346	132
利息の支払額	△1,329	△1,729
法人税等の支払額	△1,279	△1,432
法人税等の還付額	85	1
事業再編による支出	△263	△424
その他	△2,300	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,093	3,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,711	△3,054
有形及び無形固定資産の売却による収入	175	1,977
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	11,624	0
その他	△45	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,042	△1,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,611	1,373
長期借入れによる収入	31,040	—
長期借入金の返済による支出	△49,767	△1,917
非支配株主への配当金の支払額	△2,480	△354
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△72	△89
自己株式の純増減額（△は増加）	△0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,668	△988
現金及び現金同等物に係る換算差額	334	△1,771
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,199	△447
現金及び現金同等物の期首残高	26,949	18,303
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△273	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,477	17,856

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成しております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	44,228	36,344	9,528	7,628	4,959	18,151	120,838	—	120,838
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,933	577	398	892	508	138	7,446	△7,446	—
計	49,161	36,921	9,926	8,520	5,467	18,289	128,283	△7,446	120,838
セグメント利益 又は損失(△)	1,887	△2,613	278	169	446	1,370	1,539	163	1,702

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	44,484	37,716	6,197	8,315	5,132	18,056	119,899	—	119,899
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,040	483	356	911	424	176	6,390	△6,390	—
計	48,524	38,200	6,552	9,226	5,556	18,232	126,290	△6,390	119,899
セグメント利益 又は損失(△)	3,520	△2,244	△4	871	708	1,468	4,319	120	4,439

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 財務制限条項

当社及び連結子会社であるPT. Akebono Brake Astra Indonesia(インドネシア)の借入金には、グロスレバレッジ比率、デットサービスカバー比率、銀行預金残高、連結純資産、連結営業利益、設備投資金額などに関する財務上の特約が付されております。

なお、これらの契約に基づく借入残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
短期借入金	2,862百万円	4,001百万円
1年内返済予定の長期借入金	一百万円	800百万円
長期借入金	32,000百万円	29,283百万円
計	34,862百万円	34,084百万円

※2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
建物及び構築物	6,941百万円	4,875百万円
機械装置及び運搬具	13,879百万円	9,952百万円
土地	11,644百万円	11,054百万円
投資有価証券	14百万円	一百万円
計	32,478百万円	25,881百万円

(注) 上記の他、連結上消去されている関係会社株式(前連結会計年度5,133百万円、当第3四半期連結会計期間5,133百万円)、関係会社出資金(前連結会計年度1,322百万円、当第3四半期連結会計期間1,322百万円)及び関係会社短期貸付金(前連結会計年度23,559百万円、当第3四半期連結会計期間25,841百万円)を担保に供しております。

担保付債務は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
1年内返済予定の長期借入金	一百万円	800百万円
長期借入金	32,000百万円	29,283百万円
計	32,000百万円	30,083百万円

3 偶発債務

当社及び連結子会社が過去に製造・販売した一部のブレーキ製品に関連し、完成車メーカーにおいて当該製品を搭載した自動車について市場回収処置(リコール)の届出が行われました。これにより補修費用等の負担が発生する可能性がありますが、当該影響額を合理的に見積もることは困難であるため、連結財務諸表には反映しておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取保険金

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

北米の連結子会社であるAkebono Brake Corporation(米国)のAkebono Brake, Elizabethtown Plant(米国ケンタッキー州)において、2025年6月4日に発生した火災にかかる、受取保険金の一部であります。保険金の受取総額は確定しておりません。

※2 事業構造改善費用

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

主な内訳は、北米におけるAkebono Brake Corporation(米国)の1工場化に係る費用636百万円、並びに中国における広州曙光制動器有限公司及び曙光制動器(蘇州)の早期退職に係る費用171百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

主な内訳は、北米におけるAkebono Brake Corporation(米国)の1工場化に係る費用735百万円であります。

※3 為替換算調整勘定取崩損

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社子会社の連結除外に伴う為替換算調整勘定の取崩しによるものであります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

※4 災害による損失

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

北米の連結子会社であるAkebono Brake Corporation(米国)のAkebono Brake, Elizabethtown Plant(米国ケンタッキー州)において、2025年6月4日に発生した火災による損失であります。なお、当社グループでは係る損害に備えた火災保険を付保しており、その一部を受領しておりますが保険金の受取総額は確定しておりません。

5 当社グループは、「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)第7項を適用し、当第3四半期連結累計期間を含む対象会計年度に関する国際最低課税額に対する法人税等を計上していません。